

MAGNIA
Windows Server 2016
構成ガイド

2018年5月

Revision 1.04

東芝デジタルソリューションズ株式会社

目次

Windows Server 2016 主な強化点	3
製品体系	4
ライセンス	5
ラインナップ	10
ご購入における注意点	18
インストールについて	20

Windows Server 2016 主な強化点

1. 新しい保護レイヤーによるセキュリティの強化

- ・仮想環境の保護
 - 仮想 TPM と BitLocker で仮想マシンを暗号化 (シールドされた仮想マシン)
 - シールドされた仮想マシンは、承認されたホストでのみ実行可能 (Host Guardian サービス)
 - Linux が動作する仮想マシンのセキュア ブートをサポート
- ・サーバーの保護
 - OS から分離したセキュリティ コンポーネント (仮想化ベースのセキュリティ)
 - 既知の脆弱性に対する保護 (Windows Defender)
- ・管理者資格情報の保護
 - ユーザーが実行可能な Cmdlet および関数、外部コマンドを指定 (Just Enough Administration)

2. Software-Defined Datacenter による効率性の向上

- ・Software-Defined Compute (Hyper-V)
 - 仮想マシンに対するメモリの Hot-Add、ネットワーク アダプターの Hot-Add/Remove
 - Hyper-V の仮想マシン上で、Hyper-V の役割をサポート (Nested Virtualization)
- ・Software-Defined Storage
 - 複数サーバーのローカル ストレージで、高可用性ストレージを提供 (記憶域スペース ディレクト)
 - ハードウェアに依存しないブロック レベルのレプリケーションで、災害復旧対策 (記憶域レプリカ)
- ・Software-Defined Networking
 - NVGRE に加え、VXLAN によるオーバーレイネットワーク
 - NAT/ロード バランサーを仮想スイッチに実装 (Windows Azure VFP Switch Extension)

3. 既存のアプリケーションをクラウドネイティブモデルに変換

- ・コンテナ
 - 分離レベルの違いによる、2 種類のコンテナ (Windows Server コンテナ、Hyper-V コンテナ)
 - Docker コマンドによるコンテナの管理をサポート

機能の詳細は、マイクロソフト社 Web サイトをご覧ください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/cloud-platform/windows-server>

製品体系

Windows Server 2016の各エディションの位置づけと諸元は、以下のとおりです。

※ 現時点で、「Essentials」は弊社では販売していません。

エディション	Datacenter	Standard
最大メモリ容量 (*1)	24TB	
最大論理プロセッサ数 (*1)	512個	
仮想マシンの最大メモリ容量	仮想マシンあたり 12TB	
仮想マシンの最大仮想プロセッサ数	仮想マシンあたり 240個	
用途	高密度の仮想化環境 プライベート クラウド環境 ハイブリッド クラウド環境	低密度の仮想化環境 物理 (非仮想化) 環境
Windows Serverの主要機能	○	
同時実行可能な仮想マシン数と Hyper-Vコンテナ数の合計	無制限	2 (*2)
Windows Server コンテナ数	無制限	
Host Guardianサービス	○	
Nano Server	- (*3)	
Software-Defined Storageの新機能 (記憶域スペース ディレクト、記憶域レプリカなど)	○	-
シールドされた仮想マシンの実行	○	-
Software-Defined Networkingの新機能 (ネットワーク コントローラー、ソフトウェア ロード バランサー、データセンター ファイアウォールなど)	○	-

(*1) ここに記載の値は OS としての値です。実際の導入時には、ハードウェアの諸元などもご確認ください。

(*2) 追加ライセンスにより、増やすことが可能です。(「ライセンス」(P.5)を参照)

(*3) OEM 版の Windows Server 2016 では、Nano Server は未サポートです。

ライセンス

Windows Server 2016 を利用するには、サーバーライセンスとクライアントアクセスライセンス(CAL)が必要になります。

【Windows Server 2016 におけるサーバーライセンスの定義】

Windows Server 2016 Standard/Datacenter のサーバーライセンスは、従来のプロセッサ ベースからコアベースのライセンス体系に変更されました。

- (1) サーバーのすべての物理コアに対してライセンスの取得が必要。
- (2) サーバー毎に最低 16 個のコア ライセンスが必要。
- (3) 物理プロセッサ毎に最低 8 個のコア ライセンスが必要。^(*4)

使用するサーバーの物理コア数に応じて、1 つの基本ライセンス (16 コア分のライセンス) といくつかの追加ライセンス (2 コア分のライセンス) を組み合わせて、上記(1)~(3)のすべてを満たす必要があります。

		プロセッサあたりの物理コア数					
		2	4	6	8	10	12
サーバーあたりのプロセッサ数	1	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ
	2	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ	基本(16C) + 追加(2C)×2	基本(16C) + 追加(2C)×4

		プロセッサあたりの物理コア数				
		14	16	18	20	22
サーバーあたりのプロセッサ数	1	基本(16C)のみ	基本(16C)のみ	基本(16C) + 追加(2C)×1	基本(16C) + 追加(2C)×2	基本(16C) + 追加(2C)×3
	2	基本(16C) + 追加(2C)×6	基本(16C) + 追加(2C)×8	基本(16C) + 追加(2C)×10	基本(16C) + 追加(2C)×12	基本(16C) + 追加(2C)×14

(*4) MAGNIA は最大 2 CPU 構成ですので、物理プロセッサ数に応じたライセンスの追加は不要です。

上記のライセンスを取得したときに使用できる仮想インスタンス数（仮想マシン数と Hyper-V コンテナ数の合計）は以下のとおりです。

Standard エディション : 2
 Datacenter エディション : 無制限

Standard エディションにおいては、上記の(1)~(3)をすべて満たす毎に、仮想インスタンスを 2 個実行できます。例えば、1 プロセッサあたり 6 コアの CPU を 2 CPU 構成で使用する場合、または 1 プロセッサあたり 12 コアの CPU を 2 CPU 構成で使用する場合、実行可能な仮想インスタンス数と必要なライセンス数は以下のとおりです。

例 1: 6 コア×2 CPU の場合

仮想インスタンス数	必要ライセンス数	購入するライセンス数
1~2	16 コア分	基本ライセンス (16 コア分) のみ
3~4	32 コア分	基本ライセンス (16 コア分) + 追加ライセンス(2 コア分) × 8
5~6	48 コア分	基本ライセンス (16 コア分) + 追加ライセンス(2 コア分) × 16

例 2: 12 コア×2 CPU の場合

仮想インスタンス数	必要ライセンス数	購入するライセンス数
1~2	24 コア分	基本ライセンス (16 コア分) + 追加ライセンス(2 コア分) × 4
3~4	48 コア分	基本ライセンス (16 コア分) + 追加ライセンス(2 コア分) × 16
5~6	72 コア分	基本ライセンス (16 コア分) + 追加ライセンス(2 コア分) × 28

【待機系サーバー、予備サーバーのライセンス】

クラスタ構成での待機系サーバー（コールドスタンバイ含む）や、SAN ブート環境の予備サーバーに対しても、サーバー 1 台毎にサーバーライセンスが必要です。

【仮想化環境上でのサーバーライセンス】

Hyper-V のライブマイグレーション機能や VMware の vMotion 機能などにより、物理サーバー間で仮想マシン（ゲスト OS）を移動させて実行する場合は、移動元と移動先の両方の物理サーバーに対して、仮想ライセンスが必要です。

また、OEM 版 OS は、他の物理サーバーへのライセンスの移動ができませんので、P2V ツールなどで既存の物理サーバーから（別の物理サーバー上の）仮想化環境上に移動させる場合、移動先に別途 OS ライセンスが必要になります。

【サーバーライセンスのダウングレード】

Windows Server 2016 のサーバーライセンスには、以前のバージョンへダウングレードして使用できる権利があります。また、Datacenter は Standard へダウンエディションして使用できる権利があります。これにより、例えば Windows Server 2016 のライセンスを保有しているサーバー上で、Windows Server 2012 R2 等を実行することができます。ただし、OS をダウングレードして使用する場合でも、ライセンス条項については、ダウングレード前のライセンス条項（すなわち、上の例では Windows Server 2016 のライセンス条項）が適用されます。

利用可能バージョン 購入 ライセンス	Windows Server 2016	Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012	Windows Server 2008 R2
Windows Server 2016 Datacenter	• Datacenter • Standard	• Datacenter • Standard	• Datacenter • Enterprise • Standard
Windows Server 2016 Standard	• Standard	• Standard	• Enterprise • Standard

【クライアントアクセスライセンス(CAL)が不要になる条件】

Windows Server 2016 では、サーバーソフトウェアにアクセスするか、サーバーソフトウェアを使用するときには、Windows Server 2016 CAL が必要になります。ただし、以下の条件で利用する場合は、CAL は不要です。

- ・ OS 管理のみを目的としてアクセスする最大 2 台のデバイスまたは 2 人のユーザー
- ・ Windows サーバーからのアクセス
- ・ 仮想化環境下において、以下の用途でホスト OS を利用する場合
 - ハードウェア仮想化ソフトウェアを実行する
 - ハードウェア仮想化サービスを提供する
 - オペレーティング システム環境を管理および操作するためのソフトウェアを実行する。

【CAL の種類とモード】

Windows Server 2016 CAL は、Windows Server 2016 にアクセスするために必要です。

CAL の必要数は、CAL の「種類」と「モード」の組み合わせで決まります。

CAL の種類	説明
デバイス CAL	サーバーを利用する端末数に応じて購入
ユーザー CAL	サーバーを利用する人数に応じて購入

CAL のモード	説明
接続デバイス数または接続ユーザー数モード	サーバーを利用する総端末数または送利用者数に応じて購入。 利用するサーバー(OS)数に制限なし。
同時使用ユーザー数モード	サーバーを同時に使用する最大数分、CAL が必要。 サーバー(OS)毎に CAL が必要

なお、Windows Server 2008 R2 以前のバージョンの OEM 版 Windows サーバー OS には一定数量の CAL が標準添付されていましたが、Windows Server 2016 では CAL が標準添付されていません。ご注意ください。

【異なるバージョン／エディション間での CAL の利用】

異なるバージョンやエディションのOSを利用するときのCALの考え方は、以下のとおりです。

- ・ エディションの種類（Standard、Datacenter）に関わらず、CAL は共通です。
- ・ Windows Server 2016 CAL で旧バージョン OS (Windows Server 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 /…) を利用できますが、旧バージョンの CAL で Windows Server 2016 を利用することはできません。
- ・ Windows Server 2016 のダウングレード権により旧バージョン OS を利用する場合は、該当する旧バージョン CAL で利用できます。(Windows Server 2016 CAL である必要はありません)

【リモートデスクトップサービスのライセンス】

Windows Server 2016 でリモート デスクトップ サービス (RDS)を利用するには、クライアント毎に 1, 2, 両方のライセンスが必要になります。

1. Windows Server 2016 CAL
2. Windows Server 2016 Remote Desktop Services CAL (RDS CAL)

なお、RDS CAL についても、デバイス CAL とユーザー CAL の 2 種類があります。購入後に CAL の種類を変更することはできませんので、どちらが必要かをご確認のうえで、ご購入ください。

また、Windows Server 2016 RDS CAL にて、旧バージョン OS の RDS(またはターミナルサービス) を利用することもできます。但し、旧バージョン OS のライセンスサーバー上でプロダクトキーが受け付けられない可能性がありますので、その場合は、マイクロソフト社のライセンス認証電話窓口へお問い合わせください。

【その他のライセンス】

■ Rights Management Services クライアントアクセスライセンス (RMS CAL)

Active Directory Rights Managementサービスを利用する際に必要となります。

■ エクスターナルコネクタライセンス(EC ライセンス)

外部ユーザーがWindows Server 2016にアクセスする場合に、CALの代わりに利用できるライセンスです。このライセンスでアクセスできる外部ユーザー数は無制限ですが、サーバー1台毎にライセンスが必要です。

※ RMS CALおよびECライセンスは、ボリュームライセンスでの販売となります。(弊社OEM品の販売はありません。)

ラインナップ

【OS 本体】

・ Windows Server 2016 (OEM 版)

形番	製品名称	希望小売価格(円)
ACR3757A (*5)	OS セレクト M (Windows Server 2016 Standard プレインストール)	オープン価格
ACR3757B (*5)		
ACR3758A (*5)	OS セレクト N (Windows Server 2016 Datacenter プレインストール)	オープン価格
ACR3758B (*5)		

※ OSセレクトM/Nには、それぞれ16コア分のライセンスが含まれます。

※ OSセレクトM/NにはCALが付属しません。必要分のCALを手配してください。

OSセレクトM/Nの添付品

製品名称	形番	添付品
OS セレクト M	ACR3757A	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2016 Standard COA ラベル (サーバー本体に貼付) Windows Server 2016 Standard リカバリ DVD-ROM Windows Server 2016 サポートディスク (ドライバ、ユーティリティ類)
	ACR3757B	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2016 Standard COA ラベル (サーバー本体に貼付) Windows Server 2016 Standard リカバリ DVD-ROM
OS セレクト N	ACR3758A	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2016 Datacenter COA ラベル (サーバー本体に貼付) Windows Server 2016 Datacenter リカバリ DVD-ROM Windows Server 2016 サポートディスク (ドライバ、ユーティリティ類)
	ACR3758B	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2016 Datacenter COA ラベル (サーバー本体に貼付) Windows Server 2016 Datacenter リカバリ DVD-ROM

(*5) 同時購入するサーバー本体によって、形番が異なります。

ACR3757A, ACR3758A : 2017年10月以前にリリースされたサーバー本体

ACR3757B, ACR3758B : 2017年11月以降にリリースされたサーバー本体

Windows Server 2012 R2 (OEM 版) ダウングレード

形番	製品名称	希望小売価格(円)
ACR3788A (*6)	OS セレクト S (Windows Server 2016 Standard ダウングレードサービス、 Windows Server 2012 R2 Standard プレインストール)	オープン価格
ACR3788B (*6)		
ACR3789A (*6)	OS セレクト T (Windows Server 2016 Datacenter ダウングレードサービス、 Windows Server 2012 R2 Datacenter プレインストール)	オープン価格
ACR3789B (*6)		

- ※ 「OSセレクトS」(ACR3788A, ACR3788B) は、Windows Server 2016 Standardのライセンス条件に従います。
- ※ 「OSセレクトT」(ACR3789A, ACR3789B) は、Windows Server 2016 Datacenterのライセンス条件に従います。
- ※ OSセレクトS/Tには、それぞれ16コア分のライセンスが含まれます。
- ※ OSセレクトS/TにはCALが付属しません。必要分のCALを手配してください。

OSセレクトS/Tでは、Windows Server 2016の媒体添付に加え、Windows Server 2012 R2のインストール作業を代行するサービスを提供します。本サービスは、Windows Server 2016のダウングレード権利に基づく作業を弊社が代行するものです。そのため、お客様にWindows Server 2016のライセンス条項に許諾頂けることが必要となります。

Windows Server 2016のライセンス条項については、以下のマイクロソフト社Webサイトをご覧ください。

https://www.microsoft.com/en-us/UseTerms/Oem/WindowsServer2016/DatacenterAndStandard/UseTerms_Oem_WindowsServer2016_DatacenterAndStandard_Japanese.htm

OSセレクトS/Tの使用条件

製品名称	プレインストール OS	再インストールで使える OS	付属 CAL
OS セレクト S	Windows Server 2012 R2 Standard	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2012 R2 Standard	なし
OS セレクト T	Windows Server 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2016 Datacenter Windows Server 2012 R2 Datacenter	なし

(*6) 同時購入するサーバー本体によって、形番が異なります。

ACR3788A, ACR3789A : 2017年10月以前にリリースされたサーバー本体

ACR3788B, ACR3789B : 2017年11月以降にリリースされたサーバー本体

OSセレクトS/Tの添付品

製品名称	形番	添付品
OS セレクト S	ACR3788A	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Standard COA ラベル (サーバー本体に貼付) ・ Windows Server 2016 Standard リカバリ DVD-ROM ・ Windows Server 2016 サポートディスク (ドライバ、ユーティリティ類) ・ Windows Server 2012 R2 Standard ダウングレード DVD-ROM ・ Windows Server 2012 R2 Standard COA カード (仮想環境へのインストール用プロダクトキー)
	ACR3788B	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Standard COA ラベル (サーバー本体に貼付) ・ Windows Server 2016 Standard リカバリ DVD-ROM ・ Windows Server 2012 R2 Standard ダウングレード DVD-ROM ・ Windows Server 2012 R2 Standard COA カード (仮想環境へのインストール用プロダクトキー)
OS セレクト T	ACR3788A	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Datacenter COA ラベル (サーバー本体に貼付) ・ Windows Server 2016 Datacenter リカバリ DVD-ROM ・ Windows Server 2016 サポートディスク (ドライバ、ユーティリティ類) ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter ダウングレード DVD-ROM ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter COA カード (仮想環境へのインストール用プロダクトキー)
	ACR3788B	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Datacenter COA ラベル (サーバー本体に貼付) ・ Windows Server 2016 Datacenter リカバリ DVD-ROM ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter ダウングレード DVD-ROM ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter COA カード (仮想環境へのインストール用プロダクトキー)

・ Windows Server 2012 (OEM 版) ダウングレード

形番	製品名称	希望小売価格(円)
ACR3786A	OS セレクト Q (Windows Server 2016 Standard ダウングレードサービス、 Windows Server 2012 Standard プレインストール)	オープン価格
ACR3787A	OS セレクト R (Windows Server 2016 Datacenter ダウングレードサービス、 Windows Server 2012 Datacenter プレインストール)	オープン価格

- ※ 「OSセレクトQ」(ACR3786A) は、Windows Server 2016 Standardのライセンス条件に従います。
- ※ 「OSセレクトR」(ACR3787A) は、Windows Server 2016 Datacenterのライセンス条件に従います。
- ※ OSセレクトQ/Rには、それぞれ16コア分のライセンスが含まれます。
- ※ OSセレクトQ/RにはCALが付属しません。必要分のCALを手配してください。

OSセレクトQ/Rでは、Windows Server 2016の媒体添付に加え、Windows Server 2012のインストール作業を代行するサービスを提供します。本サービスは、Windows Server 2016のダウングレード権利に基づく作業を弊社が代行するものです。そのため、お客様にWindows Server 2016のライセンス条項に許諾頂けることが必要となります。

Windows Server 2016のライセンス条項については、以下のマイクロソフト社Webサイトをご覧ください。

https://www.microsoft.com/en-us/UseTerms/Oem/WindowsServer2016/DatacenterAndStandard/UseTerms_Oem_WindowsServer2016_DatacenterAndStandard_Japanese.htm

OSセレクトQ/Rの使用条件

製品名称	プレインストール OS	再インストールで使える OS	付属 CAL
OS セレクト Q	Windows Server 2012 Standard	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2012 Standard	なし
OS セレクト R	Windows Server 2012 Datacenter	Windows Server 2016 Datacenter Windows Server 2012 Datacenter	なし

OSセレクトQ/Rの添付品

製品名称	形番	添付品
OS セレクト Q	ACR3786A	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Standard COA ラベル (サーバー本体に貼付) ・ Windows Server 2016 Standard リカバリ DVD-ROM ・ Windows Server 2016 サポートディスク (ドライバ、ユーティリティ類) ・ Windows Server 2012 Standard ダウングレード DVD-ROM ・ Windows Server 2012 Standard COA カード (仮想環境へのインストール用プロダクトキー)
OS セレクト R	ACR3787A	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Datacenter COA ラベル (サーバー本体に貼付) ・ Windows Server 2016 Datacenter リカバリ DVD-ROM ・ Windows Server 2016 サポートディスク (ドライバ、ユーティリティ類) ・ Windows Server 2012 Datacenter ダウングレード DVD-ROM ・ Windows Server 2012 Datacenter COA カード (仮想環境へのインストール用プロダクトキー)

【サーバーライセンス (追加ライセンス)】

Windows Server 2016 Standard 追加ライセンス

形番	製品名称	希望小売価格(円)
ACR3784A	Windows Server 2016 Standard 追加ライセンス(2Core) (サーバー本体と同時出荷用)	オープン価格
ACS4146A	Windows Server 2016 Standard 追加ライセンス(2Core)(APOS) (追加購入用)	オープン価格

- ※ 「Windows Server 2016 Standard 追加ライセンス(2Core)」(ACR3784A) は、サーバー本体および以下のいずれかのOSセレクト製品と同時に購入する必要があります。既存のサーバー用に購入することはできません。
- ※ 「Windows Server 2016 Standard 追加ライセンス(2Core)(APOS)」(ACS4146A) は、以下のいずれかのOSセレクト製品が導入されている既存のサーバー用に、追加購入することができます。

Windows Server 2016 Standard 追加ライセンス (ACR3784A, ACS4146A) の対象となるOSセレクト
OSセレクトM (ACR3757A, ACR3757B)、OSセレクトQ (ACR3786A)、
OSセレクトS (ACR3788A, ACR3788B)

Windows Server 2016 Datacenter 追加ライセンス

形番	製品名称	希望小売価格(円)
ACR3785A	Windows Server 2016 Datacenter 追加ライセンス(2Core) (サーバー本体と同時出荷用)	オープン価格

- ※ 「Windows Server 2016 Datacenter 追加ライセンス(2Core)」(ACR3785A) は、サーバー本体および以下のOSセレクト製品と同時に購入する必要があります。既存のサーバー用に購入することはできません。
- ※ 以下のOSセレクトが導入されている既存のサーバー用に、サーバーライセンスを追加購入することはできません。

Windows Server 2016 Datacenter 追加ライセンス (ACR3785A) の対象となるOSセレクト
OSセレクトN (ACR3758A, ACR3758B)、OSセレクトR (ACR3787A)、
OSセレクトT (ACR3789A, ACR3789B)

【仮想環境用インストールメディア】

Windows Server 2012 R2 Standard メディアキット

形番	製品名称	希望小売価格(円)
ACR3770A ^(*7)	Windows Server 2012 R2 Standard メディアキット (Windows Server 2012 R2 Standard 媒体、プロダクトキー添付)	オープン価格
ACR3770B ^(*7)		

※ OSセレクトと組み合わせて、仮想環境にWindows Server 2012 R2をインストールするためのメディアキットです。

※ 本製品には、Windows Serverのライセンスは含まれておりません。下記のOSセレクトと同時に購入してください。

なお、ライセンス条件は、同時に購入したOSセレクト製品のライセンス条件に従います。

対象の OS セレクト： OS セレクト M (ACR3757A, ACR3757B)、

OS セレクト N (ACR3758A, ACR3758B)

Windows Server 2012 Standard メディアキット

形番	製品名称	希望小売価格(円)
ACR3769A	Windows Server 2012 Standard メディアキット (Windows Server 2012 Standard 媒体、プロダクトキー添付)	オープン価格

※ OSセレクトと組み合わせて、仮想環境にWindows Server 2012をインストールするためのメディアキットです。

※ 本製品には、Windows Serverのライセンスは含まれておりません。下記のOSセレクトと同時に購入してください。

なお、ライセンス条件は、同時に購入したOSセレクト製品のライセンス条件に従います。

対象の OS セレクト： OS セレクト M (ACR3757A, ACR3757B)、

OS セレクト N (ACR3758A, ACR3758B)、

OS セレクト S (ACR3788A, ACR3788B)、

OS セレクト T (ACR3789A, ACR3789B)

(*7) 同時購入するサーバー本体によって、形番が異なります。

ACR3770A： 2017年10月以前にリリースされたサーバー本体

ACR3770B： 2017年11月以降にリリースされたサーバー本体

・ Windows Server 2008 R2 メディアキット

形番	製品名称	希望小売価格(円)
ACR3765A (*9)	Windows Server 2008 R2 Standard メディアキット (Windows Server 2008 R2 Standard 媒体、プロダクトキー添付)	オープン価格
ACR3766A (*9)	Windows Server 2008 R2 Enterprise メディアキット (Windows Server 2008 R2 Enterprise 媒体、プロダクトキー添付)	オープン価格

※ OSセレクトと組み合わせて、仮想環境にWindows Server 2008 R2をインストールするためのメディアキットです。

※ 本製品には、Windows Serverのライセンスは含まれておりません。下記のOSセレクトと同時に購入してください。

なお、ライセンス条件は、同時に購入したOSセレクト製品のライセンス条件に従います。

対象の OS セレクト： OS セレクト M (ACR3757A)、
OS セレクト N (ACR3758A)、
OS セレクト Q (ACR3786A)、
OS セレクト R (ACR3787A)、
OS セレクト S (ACR3788A)、
OS セレクト T (ACR3789A)

【クライアントライセンス(CAL)】

・ Windows Server 2016 クライアントライセンス(CAL) (OEM 品)

形番	製品名称	税別価格(円)
ACS4144A	WS2016 5 デバイス CAL	29,000
ACS4145A	WS2016 10 デバイス CAL	55,500
ACS4139A	WS2016 5 ユーザー CAL	33,000
ACS4140A	WS2016 10 ユーザー CAL	62,500

※ 全てのOSセレクト製品にはCALが付属しません。必要分のCALを手配してください。

(*9) 在庫限り、2017年10月以前にリリースされたサーバー本体およびOSセレクト製品と同時の場合のみ購入可能です。

ご購入における注意点

【OEM 版 OS のご購入上について】

OEM 版 Windows Server 2016 は、MAGNIA シリーズをご購入されるお客様に対してのみの販売となります。以下の場合は OEM 品のご購入はできませんので、ご注意ください。

- ・既存のサーバー（MAGNIA シリーズ）の OS を、Windows Server 2016 に入れ替える。
→パッケージ版もしくはボリュームライセンス品を手配ください。

【インストール媒体の流用について】

ダウングレード権による別OSの利用時など、OSセレクト製品に添付されていない媒体を利用する場合、以下の点にご注意ください。

- ・OS のインストール媒体は、お客様が正規に保有する媒体を使用してください。その際、他サーバーで使用
中の媒体を流用してもかまいません。
- ・インストール時に使用するプロダクトキーは、インストール媒体に対応するキーを使ってください。他サ
ーバーで使用中的のものでもかまいませんが、例えばボリュームライセンス用の媒体に OEM 版 OS のキーを
使用することはできません。なお、ライセンス認証（アクティベーション）が発生した場合は、画面の手
順に従って作業を行い、もしライセンス認証に失敗した場合は、マイクロソフト社の電話窓口にてライセ
ンス違反していない旨をオペレーターに伝えてください。
- ・OS をインストールする MAGNIA シリーズおよびその周辺機器、または仮想マシン（仮想化基盤ソフトウ
ェア）が、ダウングレード後の OS バージョンに対応していない場合がございますので、MAGNIA の Web
サイト（<http://magnia.toshiba-sol.co.jp/>）などで必ずご確認ください。

※ 流用可能な正規のインストール媒体をお持ちでない場合は、OSセレクトとメディアキットの同時購入を
ご検討下さい。

【サービスプロバイダでのご利用について】

- ・ホスティングサービス利用時のライセンスについて
インターネットサービスプロバイダ(ISP)などで、ホスティングサービス用途（プロバイダ業者様がOSを
所有）でWindows Server 2016を利用する場合は、通常とは異なる「サービスプロバイダライセンスプロ

グラム(SPLA)」というライセンス体系が適用されます。詳細は、以下のマイクロソフト社のサイトをご覧ください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/spla-program.aspx>

・ハウジングサービス利用時のライセンスについて

ハウジングサービス（サービス利用者様がOSを資産として所有）の場合は、上記SPLAは適用されず、通常のライセンス体系となります。なおOEM版OSの場合、OSの所有者とサーバーの所有者を分離することができませんので、サービス利用者様がサーバーも含めて所有する必要があります。

インストールについて

【ライセンス認証（アクティベーション）について】

- ・物理サーバー

OEM 版 Windows Server 2016 では、BTO 組み込み出荷（工場インストール出荷）およびプリインストールモデル以外のサーバーについては、物理サーバーへの OS インストール後にライセンス認証（アクティベーション）の作業が必要となります。

- ・仮想サーバー

仮想マシン上に OS をインストールする場合は、常にライセンス認証（アクティベーション）の作業が必要となります。なお、Windows Server 2016 Standard 追加ライセンスにはプロダクト キーは貼付されておりません。追加ライセンスの下でライセンス認証を行う場合は、仮想マシンを作成する物理サーバーに貼付の COA ラベルに印字されているプロダクト キーを使用してください。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

商標について

- MAGNIA は東芝デジタルソリューションズの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

掲載の会社名、製品名、サービス名は登録商標または商標として使用されている場合があります。また、記載のシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（(R)、TM）を付記していません。

本書について

- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。